

An aerial view of a futuristic, multi-tiered building complex. The buildings are constructed from dark, layered concrete blocks, creating a stepped, terraced appearance. Each level is topped with lush green vegetation, including trees and shrubs. The foreground is dominated by a dense, vibrant green forest with many small white flowers. The sky is a clear, light blue, with several birds in flight and large, stylized green leaves floating in the air. The overall scene conveys a sense of sustainable, nature-integrated architecture.

クールの杜



Before

After

The Future?

ここは、ある都市の一画。

この土地が開拓され、約100年のもの月が経った。その間に様々な建築物が建ち、壊され、また建ち、機能も移り変わっていった。しかし、ここに存在した自然はほぼ姿を変えることなく、まさに鎮守の森が如く、この土地を守り、歴史を紡いできた。

だがある時、ここに存在した自然が忽然と姿を消し始める。公園として使われていたこの土地が住宅と商業施設の開発のため、更地にして道路を通すのだという。

なぜ人はそんな身勝手な理由で自然を食いつくすのだろう。人も自然の一部に過ぎないのに。その上、自然の屍の上に建つ建築は機能ありきで、効率化されたものばかりである。

自然という大きなものを、そんな建築の踏み台にしているのか。いいわけがない。もっともっと、自然と人が共存できる術を人間は模索し続けなければならない。

この自然が排除されつつある空間に対して、自然発生的な建築を生み出すことで、そこには自然と人が共存し、新たな関係を紡ぎだすことができるのではなかろうか。

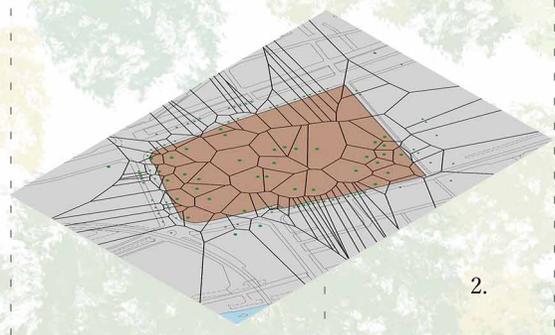
この土地の未来を、自然と人が共に生きていく未来を、考えよう。この、クルルの柱で。



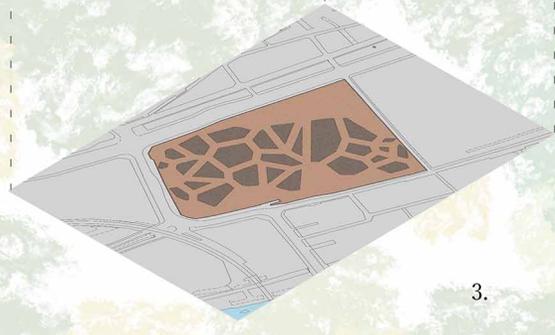
Diagram



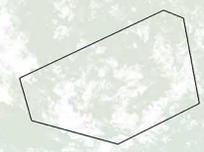
1.



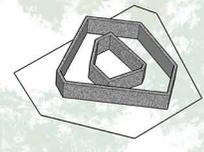
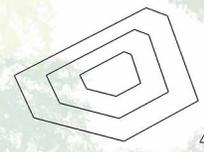
2.



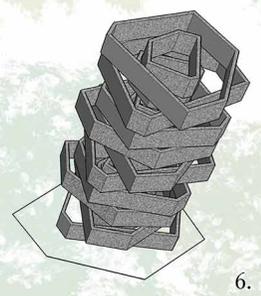
3.



4.

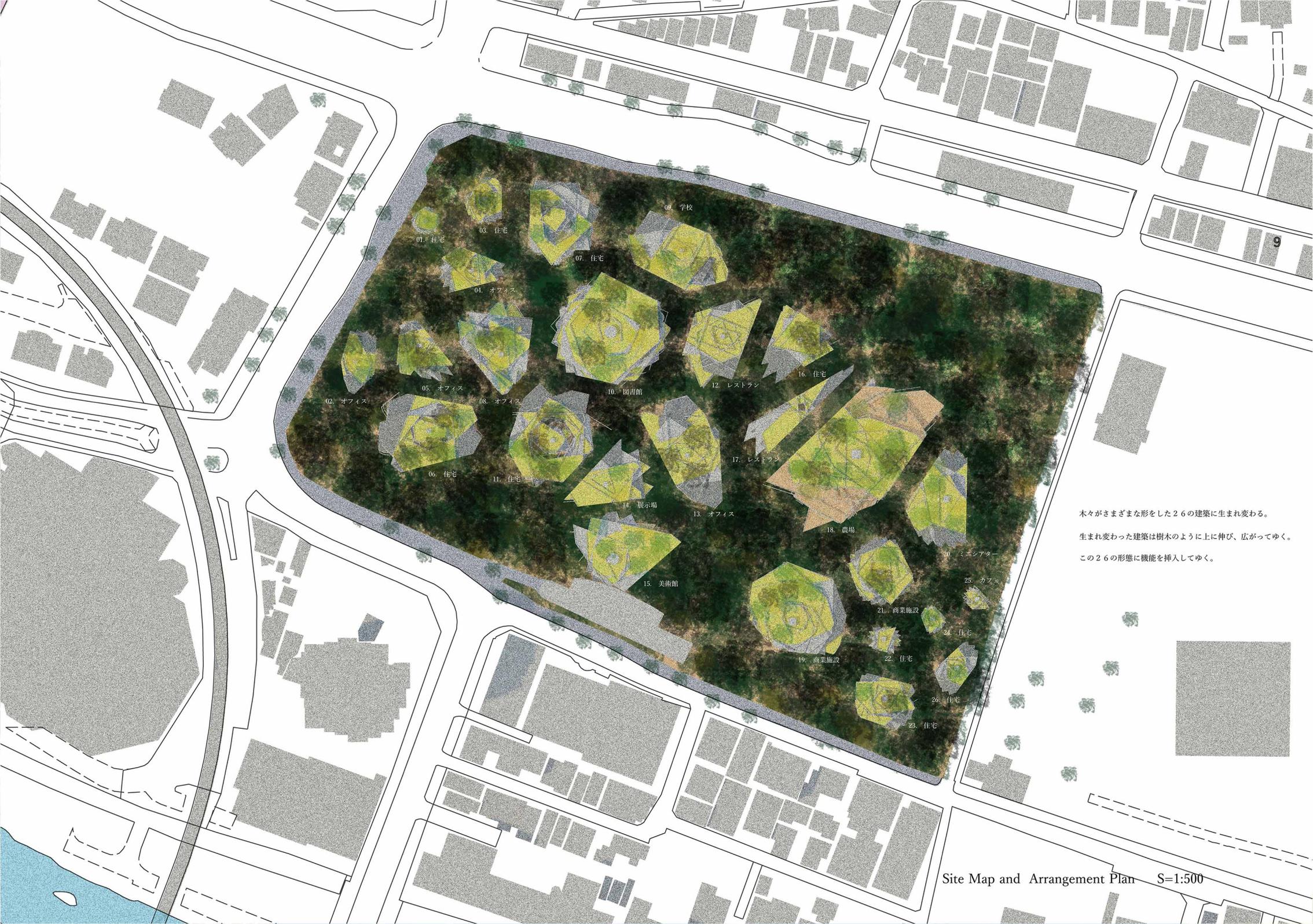


5.

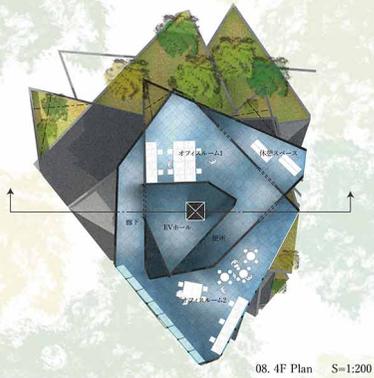


6.

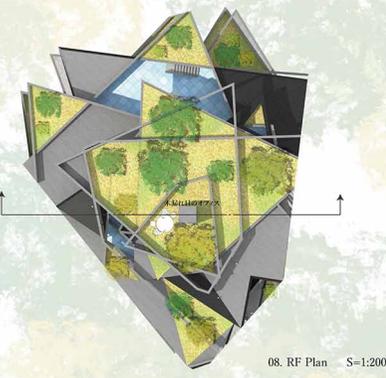
1. 現在は存在しない敷地内の樹木群と、現存する街路樹をプロットする。
 2. プロットした樹木を母点とし、ポロノイ分割を行う。
 3. ポロノイ分割を元に建物の配置と外形を決定する。
 4. 建物の外形を木の年輪のように縮小させながら配置していく。
 5. それぞれの輪に厚みと高さを与え、「黄金角」を用い、それぞれに角度を振っていく。
 6. 角度を振りながら積層させていく。
- Last. 建物の外形からはみ出た部分を落とす。



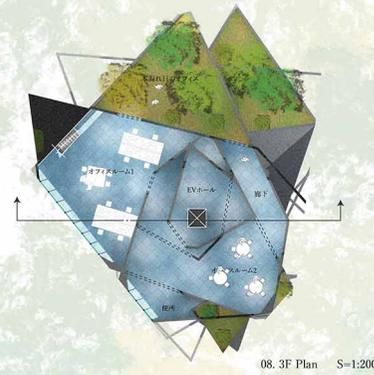
木々がさまざまな形をした26の建築に生まれ変わる。
生まれ変わった建築は樹木のように上に伸び、広がってゆく。
この26の形態に機能を挿入してゆく。



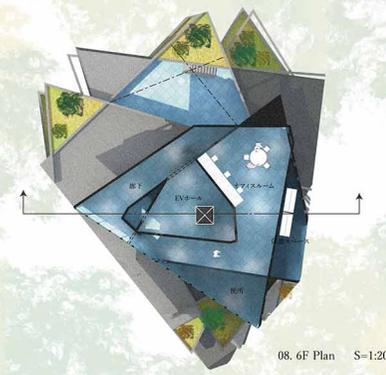
08. 4F Plan S=1:200



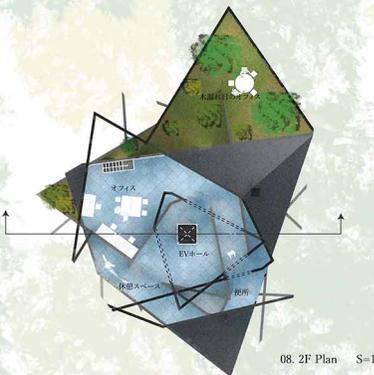
08. 8F Plan S=1:200



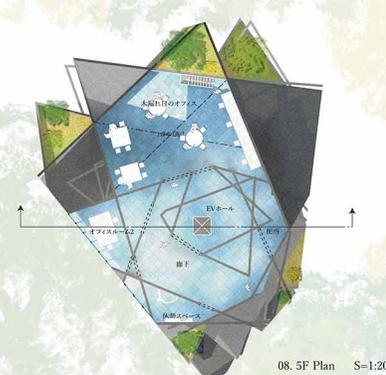
08. 3F Plan S=1:200



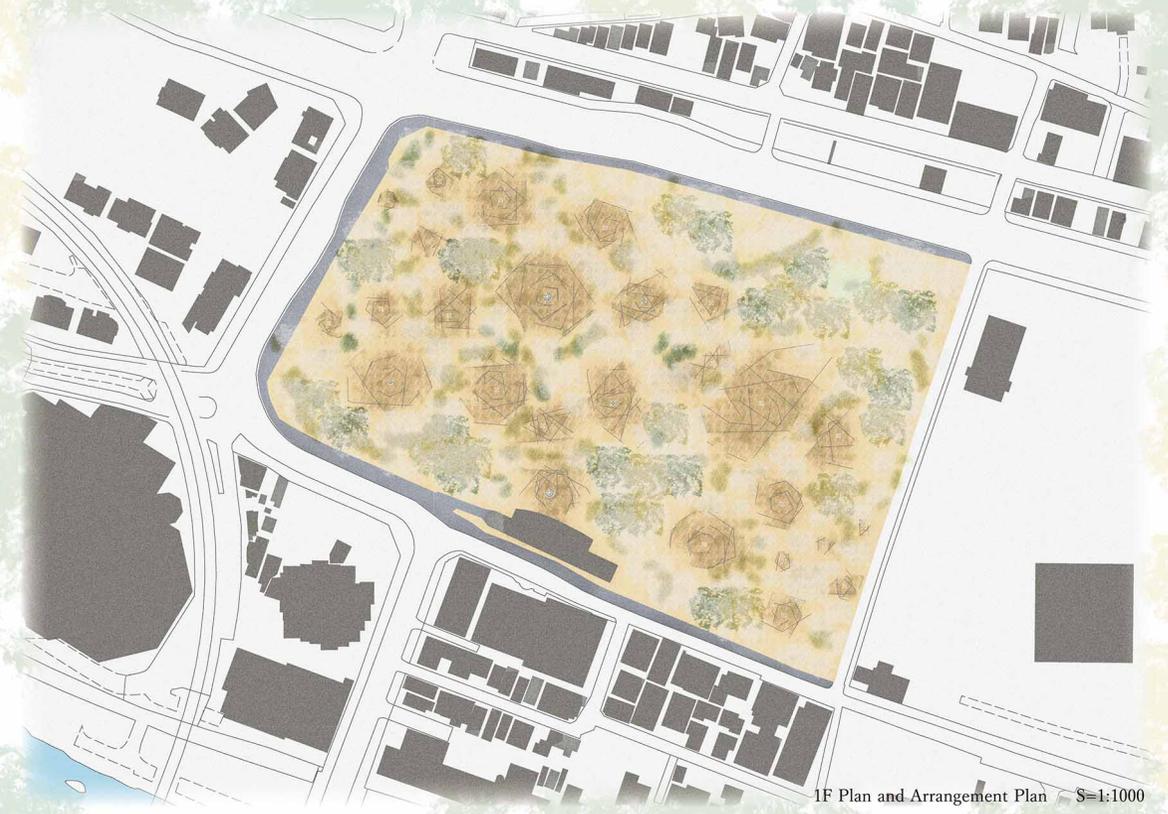
08. 6F Plan S=1:200



08. 2F Plan S=1:200

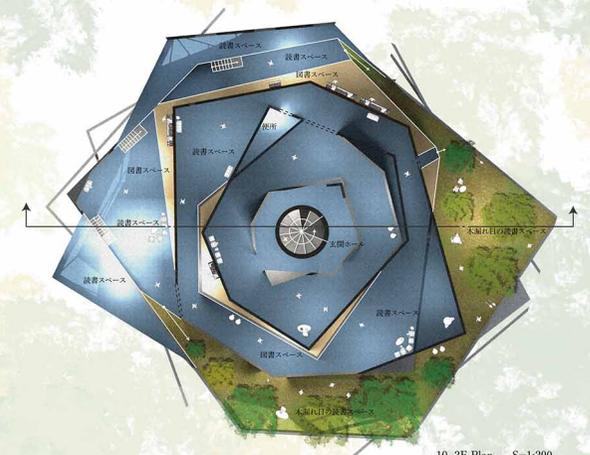


08. 5F Plan S=1:200

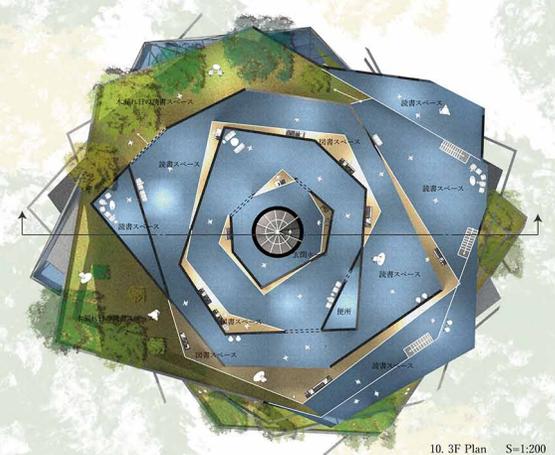


1F Plan and Arrangement Plan S=1:1000

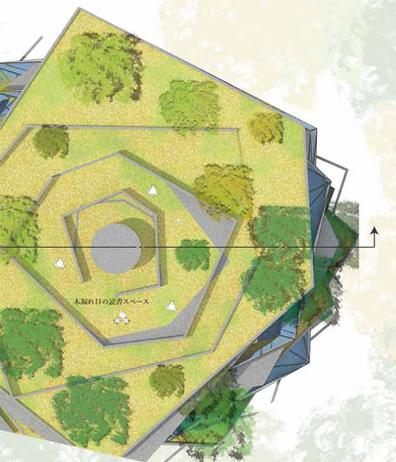
ここは、木々と生み出された構造体だけが存在する純粋な空間。すべての建物へのアプローチはここから行われる。人々は木々と構造体の中から入口を探し出し、内部へと侵入してゆく。



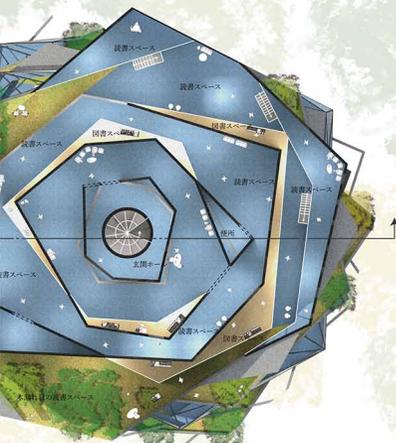
10. 2F Plan S=1:200



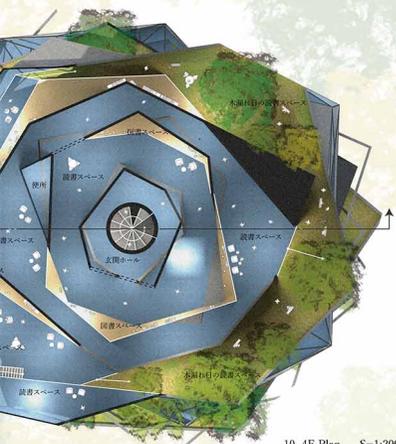
10. 3F Plan S=1:200



10. RF Plan S=1:200



10. 5F Plan S=1:200



10. 4F Plan S=1:200



10. West Elevation S=1:200



10. South Elevation S=1:200



10. Section S=1:200

24. 住宅

高層住居の住人も生活の中で自然に触れることはできないだろうか。それぞれの住居には1本の木が根を下ろしている。この木とともに暮らしを営んでゆく。
 *各階を歩くと階段の日影が木々を照らす。その影が、木々の葉を揺らす。その影が、木々の葉を揺らす。その影が、木々の葉を揺らす。

図書館 .01

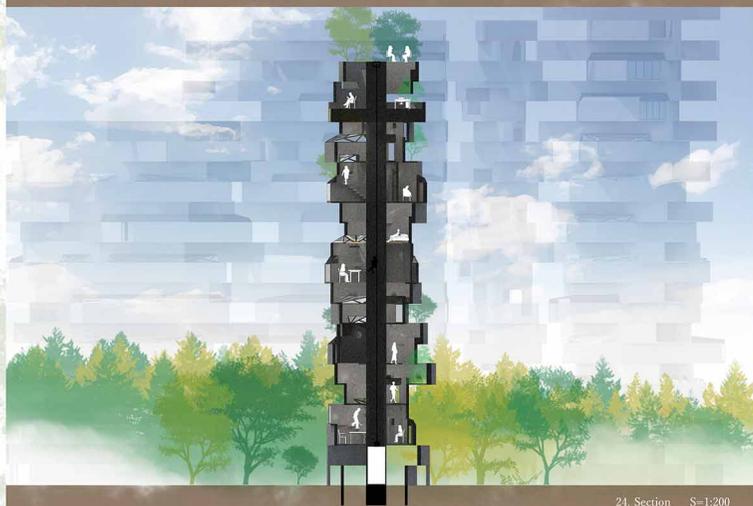
放



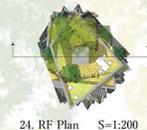
24. West Elevation S=1:200



24. South Elevation S=1:200



24. Section S=1:200



24. RF Plan S=1:200



24. 9F Plan S=1:200



24. 8F Plan S=1:200



24. 7F Plan S=1:200



24. 6F Plan S=1:200



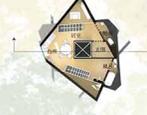
24. 5F Plan S=1:200



24. 4F Plan S=1:200

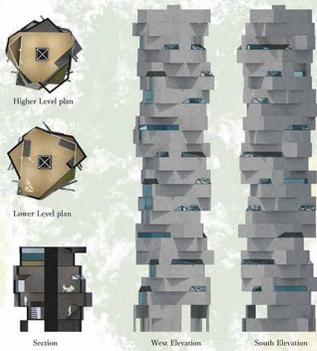


24. 3F Plan S=1:200

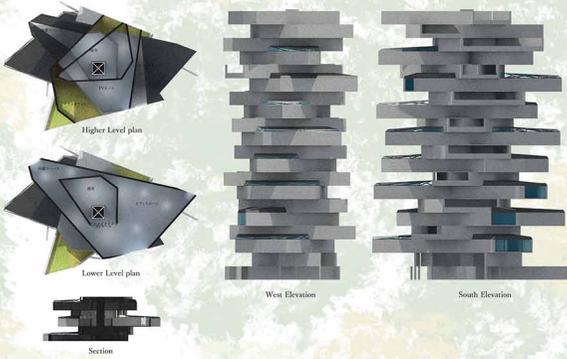


24. 2F Plan S=1:200

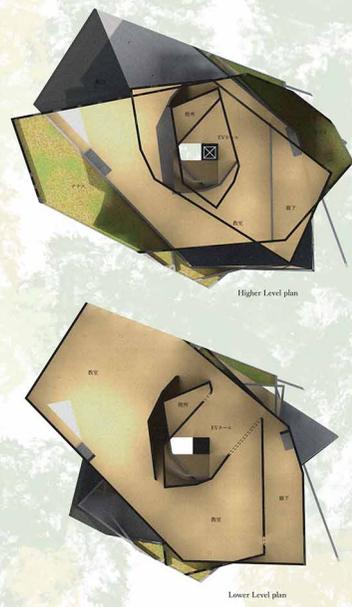
01. 住宅



04. オフィス



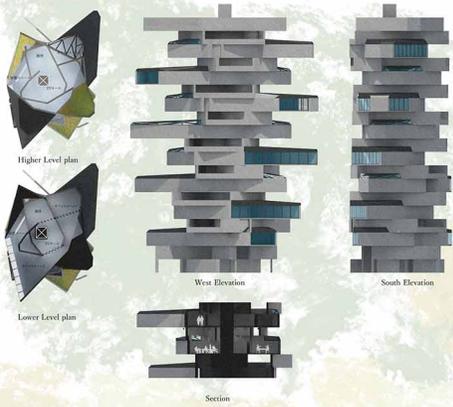
09. 小学校



13. オフィス



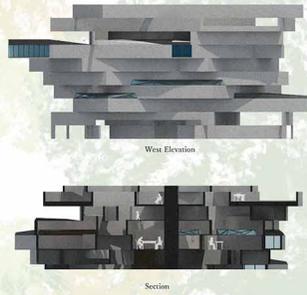
02. オフィス



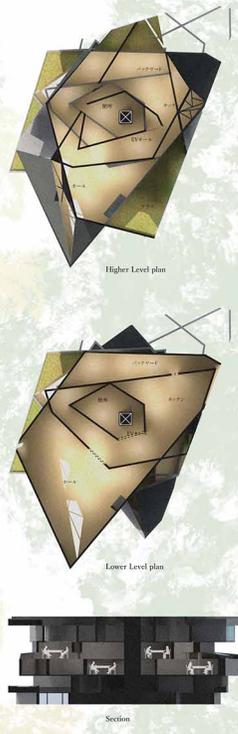
05. オフィス



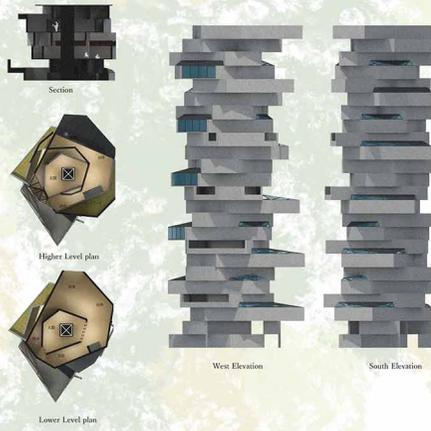
11. 住宅



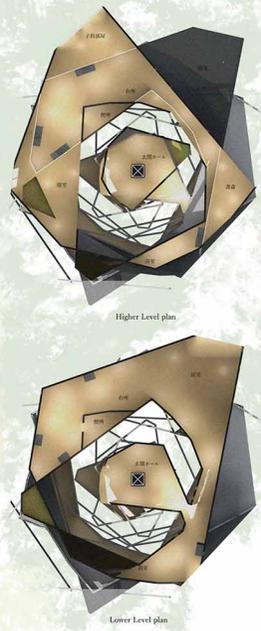
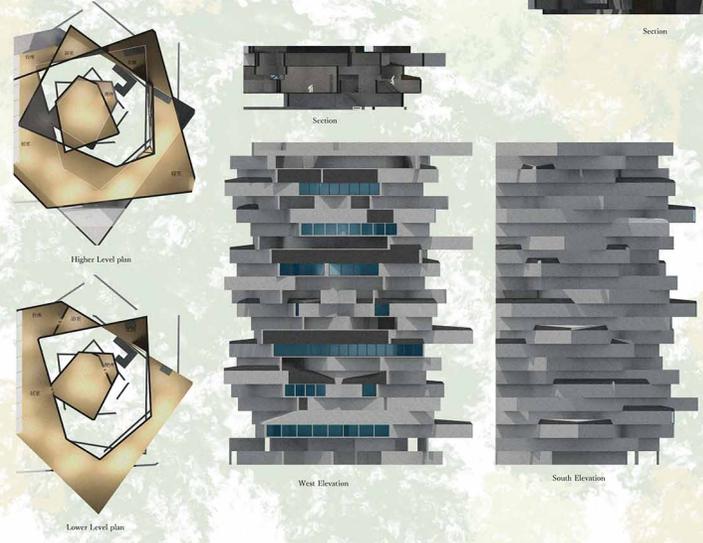
12. レストラン



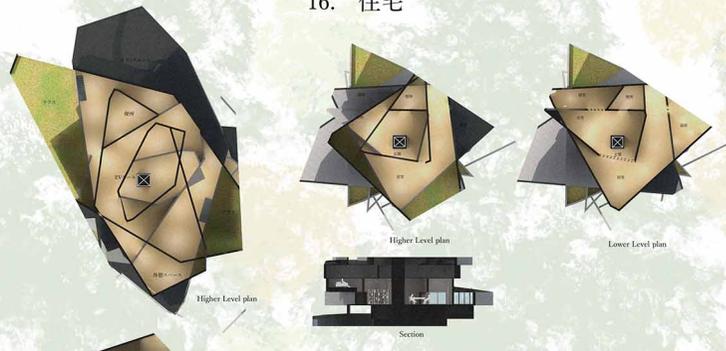
03. 住宅



07. 住宅



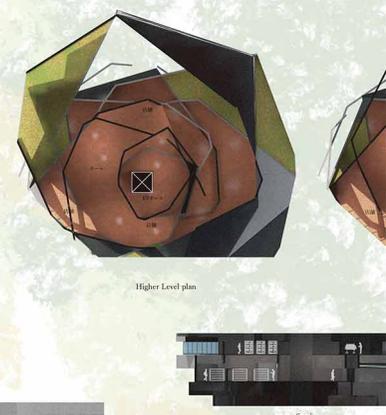
16. 住宅



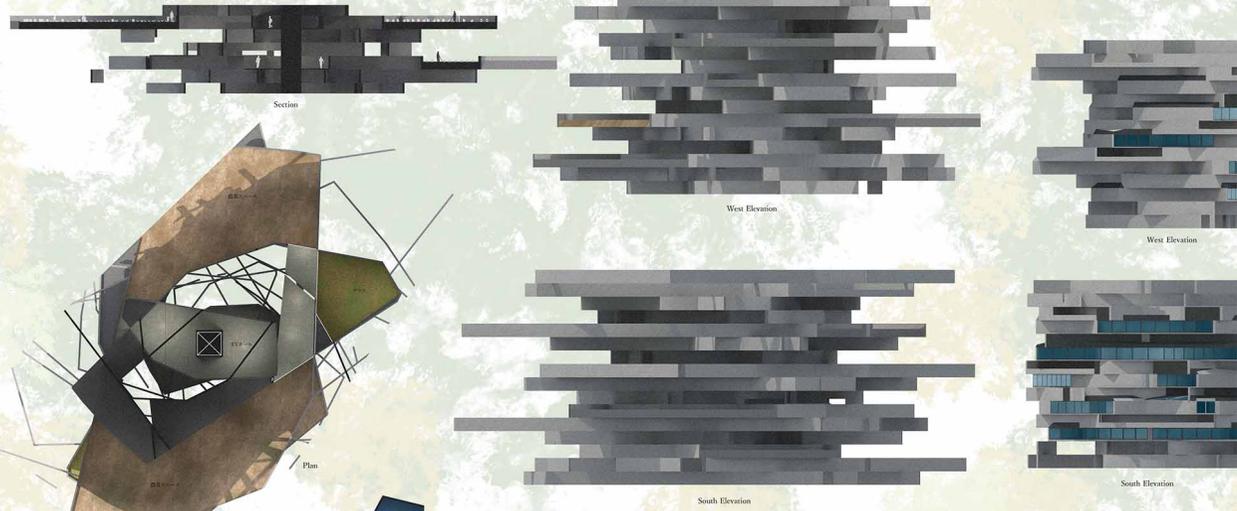
17. レストラン



19. 商業施設



18. 農場



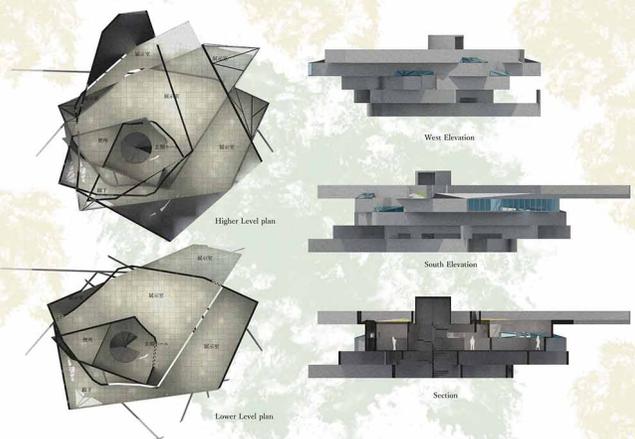
展示場



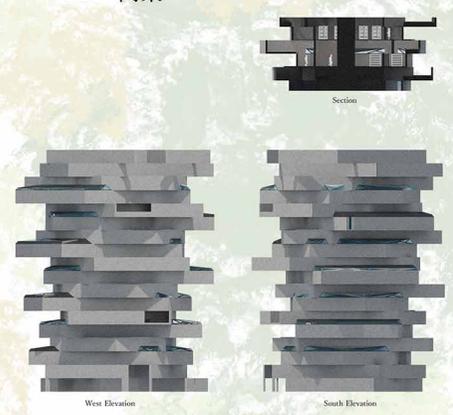
20. ミニシアター



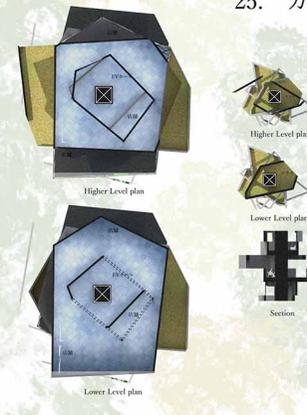
15. 美術館



21. 商業



25. カ

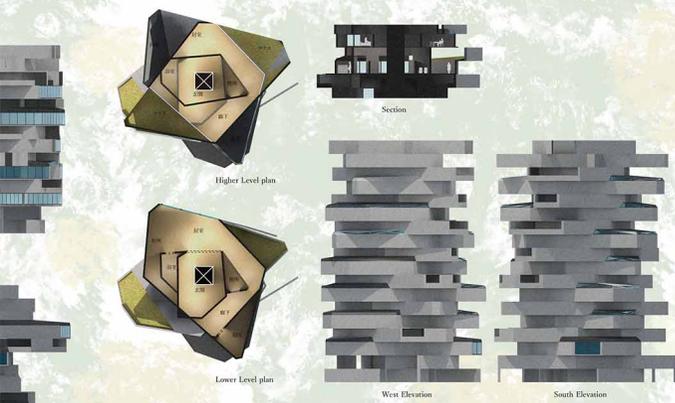


Other Typical Floor

22. 住宅



23. 住宅



26. 住宅

